



『少年の主張』校内発表会より ～心に響いた8つの声～

6月5日、「少年の主張」校内発表会が開催されました。各学年・学級の代表生徒たちが、日々の生活で感じたことや考えを、まっすぐな言葉で発表してくれました。

どの発表も、生徒たちの日常における気付きや心の動きが素直に表現されており、聴く人の心に深く響く内容ばかりでした。

以下、発表順に紹介します。

題名	発表者	発表内容(概要)
コメの価格	1年A組 〇〇〇〇さん 	お米の値上がりという身近な出来事を通して、「暮らしと物価のつながり」について深く考察してくれました。当初は他人事のように感じていた価格変動が、実際に店頭で目にすることで、身近で深刻な問題だと実感したといいます。生産コストや流通の問題、買い占めによる悪循環などを冷静に分析し、「私たち一人一人が落ち着いて行動すること」の大切さを語る姿勢が印象的でした。
命の大切さと感謝	1年B組 〇〇〇〇さん 	祖母との別れや幼少期の父親との離別という経験から、命の尊さと、悲しみの中で誰かに支えられることの大切さを学びました。生まれたばかりのいとこの赤ちゃんが家族に笑顔を取り戻してくれた経験や、担任の先生の一言に救われた経験から、「生きていること」への感謝と、苦しんでいる人へ手を差し伸べたいという強い決意を語ってくれました。
天国と地獄	2年B組 〇〇〇〇さん 	スマートフォンを例に挙げ、身近なものとの適切な向き合い方について考察していました。スマホは使い方次第で「天国」にも「地獄」にもなりうると指摘し、スマホとの「距離感」は柔軟に変えつつも、「ボーダーライン」は厳しく設定すべきだと提案しました。これは友人関係や趣味にも通じる考えであり、信頼できる大人から学び、自分にとって最高の娯楽を見つけることの重要性を訴えかける内容でした。
時間はただの数字じゃない	2年A組 〇〇〇〇さん 	授業の1時間は長く感じるのに、スマホやゲームの1時間は一瞬に過ぎるという日常の体験から、時間の使い方を見直すことの重要性を訴えました。家族や友人との時間はかけがえのないものであり、過ぎた時間は戻らないからこそ、日々の時間の積み重ねが未来を創ると強調します。「時間はこれからの新しい自分を作っていく一つのピース」という前向きな視点に、私たちも学ぶことが多くありました。

題名	発表者	発表内容(概要)
廃校活用で生まれるもの	3年A組 〇〇〇〇さん 	安中市内の小中学校の統合・廃校という出来事を通じて、学校が単に学ぶ場ではなく、思い出や人とのつながりを育む大切な場所であると再認識しました。地域の方々が廃校をコミュニティの拠点として再生させている様子に感動し、自分も地域社会に積極的に関わっていきたいという強い思いを抱いていることを語ってくれました。 地域と学校の関係性の重要性を考えるきっかけとなる内容でした。
継続は力なり	3年A組 〇〇〇〇さん 	「継続は力なり」という言葉の重みについて語ってくれました。やる気が出ない時でも、父親の言葉に励まされ勉強や体育、絵の練習を続ける中で成長を実感したといいます。 一方で、一日だけ勉強を怠ったことで努力が崩れた経験から、継続には工夫や挑戦心も必要だと気付いたそうです。この言葉を信じて今後も挑戦し続けたいという強い決意が感じられる発表でした。
後悔しないためにできること	3年B組 〇〇〇〇さん 	愛犬との別れを通して、「後悔しないために今できること」の大切さに気付いた体験を語ってくれました。つらい別れの中で、自分にできたはずのことを思い返し、後悔の重さを実感したといいます。この経験は、高校受験を控える日々の生活にもつながり、スマートフォンや遊びの時間を見直し、目の前の一日を大切に積み重ねていくことが、未来の後悔を防ぐ道になるという強い決意がこもった発表でした。
努力の大切さ	3年B組 〇〇〇〇さん 	「努力は報われるのか？」という問いから、自身の水泳や英語学習の経験を振り返り、努力の本当の意味に気付いたことを語ってくれました。思うように成果が出ず悩みながらも、自分を信じて続けてきた日々が、やがて力となった——その実感のこもった言葉は、多くの人の心に響くものでした。「努力はすぐには報われないが、確実に自分の中に残る」という言葉に、深くうなずかされました。

令和7年度 安中市少年の主張大会出場決定！

今回の校内発表会の結果、下記の生徒が学校代表として「安中市少年の主張大会」に出場することになりました。

3年生 〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

2年生 〇〇〇〇さん

3名は7月3日(水)に松井田文化会館で開催される安中市大会に出場します。

学校代表として、自分の主張にさらに磨きをかけ、大会で素晴らしい発表をしてくれることを期待しています！

安中市少年の主張大会の応援に、ぜひ松井田文化会館へお越しください！